

商船三井、JERA向けLNG船「濃州丸」と命名

Edited By LogisticsToday On 2019/01/11



▲サヤリンゴ

商船三井は11日、東京電力と中部電力の合併による火力発電会社「JERA」向け新造LNG船の命名式が三菱重工長崎造船所で行われ「NOHSHUMARU（濃州丸）」と命名されたと発表した。JERAが米国フリーポートプロジェクトから購入するLNGの輸送に従事するという。

このLNG船は、商船三井とJERAの共同出資会社「トランスパシフィック SHIPPING5」が発注したもので、三菱重工が開発した連続タンクカバー（さや）がついた、商船三井としては2隻目の「サヤリンゴ」船型となる。

三菱重工独自のハイブリッド2軸推進方式「STaGE」（スチームタービン&ガスエンジン）を推進機関に採用し、燃費低減とCO2排出量の抑制に優れている。

■NOHSHUMARU（濃州丸）の概要

全長：297.5m

全幅：48.94m

満載喫水：12.9m

LNGタンク：モス独立タンク方式（リンゴ型タンク、連続タンクカバー付）

総トン数：14万9367トン

タンク容量：17万7300立方メートル（LNGタンク総容積18万立方メートルのうち実際にLNG積載が可能な容量）

主機関：再熱式蒸気タービン、電気推進モーター

航海速力：19.5ノット

建造会社：三菱造船

船舶管理会社：商船三井

URL to article : <http://www.logi-today.com/334205>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.